

**楽天トラベル「旅行好きが選ぶ！おすすめのローカル列車ランキング」を発表**  
**- 第1位に選ばれたのは、車中で津軽弁の語りべや三味線生演奏が楽しめる、あのローカル線！ -**

楽天株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役会長兼社長：三木谷 浩史）は、旅行予約サイト「楽天トラベル」（<http://travel.rakuten.co.jp/>）にて、年間5回以上旅行に行く「旅行好き」を対象に、おすすめのローカル列車に関する投票を集計（※1）し、10位までをランキング形式で紹介した「旅行好きが選ぶ！おすすめのローカル列車ランキング」をリリースいたしました。

**「旅行好きが選ぶ、おすすめのローカル列車ランキング」**

ランキングの詳細は以下 URL をご参照ください。

<http://travel.rakuten.co.jp/ranking/special/localtrain/>



順位	ローカル線名	票数
1位	青森県～秋田県 五能線	362票
2位	静岡県 大井川鐵道	297票
3位	北海道 釧網本線	236票
4位	福島県 会津鐵道	221票
5位	福島県～新潟県 只見線	220票
6位	岩手県 三陸鐵道	214票
7位	京都府 嵯峨野觀光鐵道	177票
8位	富山県 氷見線	169票
9位	熊本県 南阿蘇鐵道	133票
10位	岐阜県 長良川鐵道	124票

全体の4割となる投票数を集め1位に選ばれたローカル列車は、青森県と秋田県 約147.2kmを結ぶJR「五能線」となりました。世界自然遺産の「白神山地」の美しい山並みを背景に、日本海の海岸すれすれを走り抜けるダイナミックな景観が人気です。加えて、観光列車「リゾートしらなみ」の、津軽三味線の生演奏や津軽弁の素朴なアナウンスが乗客の心を惹きつけています。投票者の声の中には、「地元の人の人情に接し心が癒される」、「非日常の自然の景色に感動します」、「ガタゴトというレールの音、車内の雰囲気は昭和時代を体感できます」など、初心者、マニア問わずファンが多いローカル列車であることが見て取れます。

次いで第2位に輝いたのは、南アルプス山麓にこだまするSLの汽笛が「残したい日本の音風景100選」（※2）にも認定された、静岡県を走る「大井川鐵道」となりました。SLの音やにおい、車

内販売、名物車掌さんのお喋りやハーモニカ披露が魅力的な路線です。「日本で唯一のアプト式！SL列車のスイッチバックは列車好きにたまらない」「車窓からはお茶畑や河川など大自然を堪能できます。」など、ファミリーにも楽しめるローカル列車です。

第3位は、北海道の網走と東釧路をつなぐオホーツク海沿いを走る唯一のローカル列車 JR「北海道 釧網本線」となりました。釧網本線は「釧路湿原国立公園」「阿寒国立公園」2つの国立公園、さらに網走国定公園の中を走り抜ける非常に贅沢なローカル列車です。冬にはオホーツク海の流氷を眺めることが出来る「流氷ノロッコ号」も運航します。

自然を身近に感じることが出来るローカル列車を体感しに出かけてみてはいかがでしょうか？

「旅行好きが選ぶ！おすすめのローカル列車ランキング」は以下URLからもご覧いただけます。

<http://travel.rakuten.co.jp/ranking/special/localtrain/>

※1 アンケートの集計内容詳細は以下の通りです。

【実施期間】 2014年9月8日（月）～9月15日（月）計8日間

【投票対象者】 楽天トラベルニュース（メールマガジン）購読者の「年に5回以上旅行に行く」と回答した会員（投票総数：916）

【実施方法】 メールによるアンケートを実施、投票数が多かったローカル列車投票数を算出

※2

平成8年、環境省で、「全国各地で人々が地域のシンボルとして大切に、将来に残していきたいと願っている音の聞こえる環境（音風景）を広く公募し、音環境を保全する上で特に意義があると認められるもの」として「残したい“日本の音風景100選”」を選しました。

#### 【お問い合わせ先】

楽天株式会社 トラベル事業 PRグループ(担当:五十嵐・宗藤・宗形)